日本中東学会ニューズレター

JAMES
NEWSLETTER

No.166
2021/5/2

目　　次

理事会報告.....1
日本中東学会第 38 回年次大会の案内と最終プログラム.....2
『日本中東学会（AJAMES）』編集委員会報告.....9
後藤明先生の思い出.....10
寄贈図書.....12
会員の異動.....13
連絡先をご存じないですか.....14
事務局より.....14
編集後記.....14

理事会報告

【2022 年度第 1 回理事会報告】

日時：2022 年 4 月 25 日（金）18:00～21:00
オンライン開催
出席者：保坂修司、堀抜功二、秋葉淳、岩崎えり奈、江川ひかり、大川真由子、粕谷元、勝沼聡、菊地達也、後藤絵美、佐藤健太郎、錦田愛子、森本一夫、福田義昭、横田貴之
欠席者：青山弘之（委任状なし）、末近浩太（委任状あり）

［報告事項］

1. AJAMES 編集について報告と説明があった。
2. 広報事業について、学会ホームページ更新時の Twitter でのお知らせ等の配信代行および文献データベース改修に関する報告があった。
3. 第 38 回年次大会準備の進捗状況について報告があった。
4. 第 38 回年次総会準備の進捗状況について報告があった。
5. 第 39 回年次大会開催校について報告があった。

［審議事項］

1. 2021 年度事業報告・2021 年度決算を承認した。
2. 2022 年度事業計画・2022 年度予算案を承認した。
3. AJAMES 編集事業計画を承認した。
4. 会員動向について、新規入会申し込み、強制退会者、会費特例申請を承認した。
5. 研究を目的とした会員名簿データの利用申請について審議した。
6. AJAMES 在庫の整理方針を承認した。

【メール審議（2022 年 4 月 1 日～2022 年 4 月 28 日）】

1. 2022 年 4 月 4 日　第 38 回年次大会の共催団体の追加に関して

早稲田大学文学部・文学研究科中東・イスラーム研究コースと同総合人文科学研究センターを大会 2 日目についても共催団体とすることをメールにて稟議、4 月 28 日にこれを承認した。

（青山弘之　ニューズレター・書記担当理事）

日本中東学会第 38 回年次大会の案内と最終プログラム

日時：2022 年 5 月 14 日（土）、15 日（日）
開催校：早稲田大学文学部・文学研究科中東・イスラーム研究コース

日本中東学会第 38 回年次大会は、2022 年 5 月 14 日（土）および 15（日）に開催されます（早稲田大学文学部中東・イスラーム研究コース等との共催）。大会初日には総会と公開講演会、2 日目には研究発表（企画セッションを含む）を行いますが、新型コロナウイルスの影響に鑑み、2 日目の研究発表（企画セッションを含む）は、会場での直接対面方式とオンライン方式を併用したハイフレックス方式を予定しています。すなわち、発表者の皆様は会場（早稲田大学戸山キャンパス）へお越しいただいても、オンラインで参加いただいても構いません。同じく発表者以外で大会に参加される皆様は、会場へ直接お越しいただいても、オンラインでご参加いただいても構いません。新しくなった早大戸山キャンパスでお目にかかれるよう祈念しています。

1.　参加申し込みについて

日本中東学会第 38 回年次大会への参加には、大会 1 日目・2 日目で別々に事前のお申し込みが必要です。

大会 1 日目・公開講演会（ウェビナー登録フォーム）：
https://zoom.us/webinar/register/WN_vDFjnSEqTSegcq-2-1q4yw

大会 2 日目・個人研究発表：
https://forms.gle/FoDdYab173rMXvsM7

大会 2 日目の個人研究発表に参加される方は、上記フォームに登録の上、大会参加費 1000 円を以下の口座にお振り込みください。

みずほ銀行　高田馬場支店　（店番号 064）（普）口座番号 4182010
名義：日本中東学会第 38 回年次大会実行委員会
（ニホンチュウトウガッカイダイ 38 カイネンジタイカイジッコウイインカイ）

登録フォームへのご記入にあたっては、来場するかオンライン参加か選択していただくことが必要です。登録段階では来場をご選択しておいていただき、当日にオンラインに変更していただくことも可能ですので、現段階でのご予定が不透明な場合は、来場をご選択ください。

個人研究発表の参加申込み締切りは、5 月 6 日（金）とさせていただきます。ご登録と大会参加費の振り込みが確認できた方に、大会 2 日目の特設ポータルサイトの URL をご案内いたします。

なお、非会員の方も参加可能ですが、参加登録時に会員の紹介者が必要となります。お知り合いの非会員の方が参加を希望された場合には、会員の皆様に紹介者となっていただきますようお願いいたします。紹介者となる方は、参加登録時に紹介者のお名前を紹介者欄に入力するよう、非会員の方にお伝えください。

2.　託児費用の補助について

大会 1 日目、2 日目ともに、託児サービスへの費用補助を予定しております。お子様一人につき一日あたり 5,000 円を上限に費用を補助いたします。ご利用を希望される方は、追って大会メーリングリストにて登録フォームを送付いたしますので、5 月 7 日（土）までにご記入のうえ、大会終了後 1 週間以内に利用の詳細と利用金額がわかるものをメールにてご送付ください。

託児費用補助申込書：http://www.james1985.org/uploads/files/takuji.docx

3.　その他

・今大会では検討の結果、懇親会の開催は見送ることとなりましたので、ご了承ください。

・2 日目の研究発表では、ハイフレックスという方式の都合上、レジュメを会場で配布せず、大会用ポータルサイトにアップロードします。また、オンライン発表を会場で視聴する際には、PC やスマートフォン等を使用していただくことになります。ご来場される皆様には、会場における無線 LAN への接続方法を当日会場でご案内しますので、各自 PC とイヤホンやヘッドホンをご持参くださるようお願いいたします。また、レジュメは当日に無線 LAN へアクセスして参照することも可能ですが、トラブル回避のためなるべく事前に大会ポータルサイトからダウンロードしておいていただければ幸いです。

4.　日本中東学会第 38 回年次大会プログラム（2022 年 4 月 22 日現在）

日時：2022 年 5 月 14 日（土）・15 日（日）
　2022 年 5 月 14 日（土）：オンライン
　2022 年 5 月 15 日（日）：オンラインと対面を併用したハイフレックス方式
会場（15 日に対面方式での参加をご希望の場合）：早稲田大学戸山キャンパス

第 1 日目：2022 年 5 月 14 日（土）
※全て Zoom ウェビナーを使用（オンラインのみ）

13:00〜14:00　日本中東学会総会
17:00〜19:00　公開講演会

[公開講演会]　（英語／日本語同時通訳付・オンラインのみ）
The Middle East…and beyond: Writing In/Outside the Middle East (A Dialogue with Amin Maalouf)
『中東を越えて：中東の内／外で書く』（アミン・マアルーフ氏との対話）
　（なお、マアルーフ氏の希望により、単独の講演形式ではなく、鼎談にコメントを加える形式となりますので、予めご留意ください。また、Zoom ウェビナーの仕様上、参加は先着 1000 人までに限らせていただきます。ご関心のある方は、お早めに登録をお願いいたします）。

　アミン・マアルーフ氏は『アラブから見た十字軍』以来、日本でも多くの読者を獲得してきました。その後に『サマルカンド年代記』『レオ・アフリカヌスの生涯』『光の庭：小説 マニの生涯』と、歴史小説の分野においても深みのある作品を生み出し、『タニオスの岩』ではゴンクール賞も受賞しています。レバノン出身の自身の複雑なルーツも他の作品で掘り下げられており、さらに近年は『アイデンティティが人を殺す』『世界の混乱』など、大きなスケールで中東の現実に深く根差した文明論や、国際

情勢への犀利な洞察を発表し続けています。今日のアラブ系文化人を代表する一人と言えましょう。しかしながら、これまで日本の中東学界との交流は乏しく、その思想の背景などについて本格的に披歴してもらう機会はありませんでした。そこで、今回は公開で対話の場を設け、中東への眼差し、中東を書くことの意味、アイデンティティ、彼の一族の歴史的背景、ワタン、グローバリゼーション、今日の世界の在り方など、縦横に語ってもらう予定です。また、それに際して、マアルーフ氏の 2 作品を翻訳し、自身も作家にしてポスト・コロニアル文学・世界文学の著名な研究者である小野正嗣さんと司会の大稔哲也が鼎談に加わり、さらに岡真理会員、黒木英充会員からもコメントをいただきます。

対話者

アミン・マアルーフ（作家）、小野正嗣（作家・早稲田大学）、大稔哲也（モデレーター：早稲田大学）、岡真理（コメント：京都大学）、黒木英充（コメント：東京外国語大学 AA 研）、アレックス・マレット（挨拶：早稲田大学カタールチェア）

主催

日本中東学会

共催

早稲田大学カタールチェア（Chair of the State of Qatar for Islamic Area Studies）
早稲田大学総合人文科学研究センター
早稲田大学文学部・文学研究科中東・イスラーム研究コース

第 2 日：2022 年 5 月 15 日（日）

会場：早稲田大学戸山キャンパス　※ハイフレックス（対面と Zoom の併用）
アクセス：https://www.waseda.jp/top/access/toyama-campus

企画セッション　10:20～11:50／13:00～14:30
個人研究発表　　※氏名の右側の（　）内は所属。J は大学院生を指す。
午前の部　1) 9:30～10:10　2) 10:20～11:00　3) 11:10～11:50
午後の部　4) 13:00～13:40　5) 13:50～14:30　6) 14:40～15:20
　　7) 15:30～16:10　8) 16:20～17:00

【企画セッション】

10:20～11:50（第５部会会場）
‘Gender, social change, and politics in the Arab states of the Gulf’
Panel Chair: Abdullah Baabood (Waseda University)
Speakers:
Namie Tsujigami (Sophia University), ‘Do Consumption and Entrepreneurship Change

Gender Order in Saudi Arabia?'
Manami Goto (JSPS; New York University Abu Dhabi), 'Social Changes on the Abaya: The Study of Qatari Women'
Woohyang (Chloe) Sim (Waseda University), 'The reversal of the gender gap in Qatari higher education'
Respondent and Panel Organizer: Matthew Gray (Waseda University)

13:00～14:30（第６部会会場）
「社会変容と儀礼の再構成：現代イランの追悼儀礼から」
司会：椿原敦子（龍谷大学）
発表者：
黒田賢治（国立民族学博物館）「追悼儀礼へのビジュアル・アプローチへの可能性：『フレイムのなかの事件』を手がかりに」
谷憲一（上智大学）「国家および宗教権威による儀礼の包摂と排除：現代イランの事例から」
椿原敦子（龍谷大学）「フィクションとしての追悼儀礼」
コメンテーター：山岸智子（明治大学）

【個人研究発表】

第１部会（オンラインのみ）
1-1) 9:30～10:10　なし
1-2) 10:20～11:00　Dana Alnafouri (University of Tsukuba, J), 'Wall paintings from ancient Syria'
1-3) 11:10～11:50　兼定愛（同志社大学）「クルアーンに見る悲しみへの対応：「ラー・タフザン」という章句についての伝統的スンナ派啓典解釈書の分析を通して」
1-4) 13:00～13:40　アルモーメン・アブドーラ（東海大学）「宗教言語と翻訳ストラテジーに見る意味等価とその妥当性：クルアーンの「雌牛章（アル＝バカラ）」を参照して」
1-5) 13:50～14:30　竹田敏之（立命館大学）「現代アラブ詩における韻律学の伝統と革新」
1-6) 14:40～15:20　榮谷温子（慶應義塾大学）「アラビア語文法学における「種(jins)」の概念と「一般」の用語の関連」
1-7) 15:30～16:10　村上武則（東京外国語大学）「クルド文学史の文学史」
1-8) 16:20～17:00　なし

第２部会（オンラインのみ）
2-1) 9:30～10:10　なし
2-2) 10:20～11:00　井堂有子（日本国際問題研究所）「エジプトの小麦政策とスーダンのゲズィーラ灌漑計画：ナショナルな食の安全保障をめぐるナイル渓谷の攻

防」

2-3) 11:10〜11:50　なし

2-4) 13:00〜13:40　柳沢崇文（日本エネルギー経済研究所）「脱炭素化の潮流と湾岸協力理事会（GCC）諸国の動向」

2-5) 13:50〜14:30　ハディ・ハーニ（東京理科大学）「アブラハム合意における権力と抑圧：批判的ディスコース分析の観点から」

2-6) 14:40〜15:20　岡野内正（法政大学）「トルコからのジェンダー難民によるイスラーム社会で最初の武装ジェンダー革命としてのロジャヴァ革命」

2-7) 15:30〜16:10　Keiko Sakai (Chiba University), 'How do geo-historical factors affect political preference: the case of Baghdad constituency in Iraqi parliamentary election in 2021'

2-8) 16:20〜17:00　小林周（学会員）「2021 年リビア国政選挙の分析：なぜ選挙は計画され、延期されたのか」

第３部会（オンラインのみ）

3-1) 9:30〜10:10　なし

3-2) 10:20〜11:00　松田和憲（京都大学）「パキスタンにおけるラッバイク運動の結成と冒涜法」

3-3) 11:10〜11:50　岩倉洸（京都大学）「アゼルバイジャンにおける国家による宗教管理の行方：2021 年「信教の自由法」の改正を巡って」

3-4) 13:00〜13:40　黒田彩加（立命館大学）「「シャリーアと国家」をめぐる現代思潮とイスラーム改革：ハーリド・アブルファドルの政治思想の分析から」

3-5) 13:50〜14:30　桐原翠（日本学術振興会）「現代イスラーム世界におけるハラール：イスラーム法学派による食事規定とハラール食品の取り扱い」

3-6) 14:40〜15:20　足立真理（日本学術振興会）「現代インドネシアにおけるザカートの再構築：イスラームにおける制度化、デジタル化、新自由主義による影響をめぐって」

3-7) 15:30〜16:10　小島宏（早稲田大学）「英国のムスリム若者における宗教関連行動と健康」

3-8) 16:20〜17:00 なし

第４部会（オンラインのみ）

4-1) 9:30〜10:10　望月葵（立命館大学）「欧州の移民・難民コミュニティの存立基盤とシリア難民問題」

4-2) 10:20〜11:00　鈴木慶孝（日本学術振興会）「トルコにおける移民・難民の地位と権利に関する一考察：条件付き難民を中心として」

4-3) 11:10 〜 11:50　Ziad Alahmad (Tokyo University of Foreign Studies), 'Temporary protection as a temporary solution: How Syrians see Turkey's protection system after a decade of displacement'

4-4) 13:00〜13:40　熊倉和歌子（東京外国語大学）「マムルーク朝時代エジプトのアラブ部族と灌漑の維持管理」
4-5) 13:50〜14:30　小澤一郎（立命館大学）「19・20 世紀転換期のマクラーンにおける交易・交流：バルーチ人社会とアフガン人の武器交易活動」
4-6) 14:40〜15:20　福永浩一（上智大学）「近代イスラーム改革思想に見られるスーフィズム概念を巡る一考察」
4-7) 15:30〜16:10　篠田知暁（東京外国語大学）「15〜16 世紀グマーラ山地の知識人ネットワーク形成」
4-8) 16:20〜17:00　なし

第５部会（ハイフレックス：対面とオンライン）

5-1) 9:30〜10:10　Nicholas Mangialardi (Williams College), '"A Warm Eastern Sound": Listening to Arab Travelers in Modern Japan'
10:20〜11:50　企画セッション 'Gender, social change, and politics in the Arab states of the Gulf'
5-4) 13:00〜13:40　Yuki Sawaguchi (University of Tokyo, J), 'The Impacts of Marginal Status for Women Soldiers in the Israeli Military'
5-5) 13:50〜14:30　クレシ・サラ好美（慶應義塾大学 J）「日本に暮らすムスリム第二世代：当事者の語りから見える葛藤の様相」
5-6) 14:40〜15:20　なし
5-7) 15:30〜16:10　野中葉（慶應義塾大学）「在日インドネシア人ムスリムとモスク建設」
5-8) 16:20〜17:00　近藤久美子（大阪大学）「日本人学習者へのアラビア語教育：コミュニカティブ・ラーニングをめぐって」

第６部会（ハイフレックス：対面とオンライン）

6-1) 9:30〜10:10　中村友紀（筑波大学 J）「西岸地区における紛争がパレスチナ人農家の営農に及ぼす影響の定量的分析」
6-2) 10:20〜11:00　鶴見太郎（東京大学）「記憶の持ち越し：シオニズムにおける東欧でのポグロムとパレスチナでの暴力」
6-3) 11:10〜11:50　岡真理（京都大学）「中東現代文学におけるワタンと郷愁」
13:00〜14:30 企画セッション「社会変容と儀礼の再構成：現代イランの追悼儀礼から」
6-6) 14:40〜15:20　千葉悠志（公立小松大学）「中東諸国における情報部門の民営化とその政治的意味：エジプトの事例を中心に」
6-7) 15:30〜16:10　米田優作（立命館大学 J）「現代エジプト政治におけるサラフィー主義組織の思想と活動：ダアワ・サラフィーヤとヌール党を事例に」
6-8) 16:20〜17:00　岡室美恵子（星城大学）・染矢将和（名古屋大学）「COVID-19 のエジプト経済への影響」

第７部会（ハイフレックス：対面とオンライン）

7-1) 9:30〜10:10　濱田聖子（東京大学）「ジャーヒズにおける自然・理性・意志・選択：倫理的作品への応用」

7-2) 10:20〜11:00　中野さやか（早稲田大学）「タバリーの美しくつなげられた歴史：アブドルマリク・ブン・サーリフの伝記の比較を中心に」

7-3) 11:10〜11:50　荒井悠太（早稲田大学 J）「「民族史」としての『イバルの書』：前近代アラビア語史書への構造的分析」

7-4) 13:00〜13:40　池端蕗子（立命館大学）「急速に変容する現代社会とイスラーム：集団的イジュティハードによる法解釈の展開」

7-5) 13:50〜14:30　竹村和朗（高千穂大学）「「離婚」裁判所の行方：エジプトの 2021 年身分法改正論議から」

7-6) 14:40〜15:20　早矢仕悠太（東京大学 J）「マーリク派法学における死地観念の形成と都市／村落空間の法規定」

7-7) 15:30〜16:10　後藤絵美（東京外国語大学）「クルアーンとジェンダー平等：ナスル・ハーミド・アブー＝ザイドの議論の論理と可能性」

7-8) 16:20〜17:00　なし

主催

日本中東学会

共催

早稲田大学総合人文科学研究センター

早稲田大学文学部・文学研究科中東・イスラーム研究コース

5.　大会についての連絡先

日本中東学会第 38 回年次大会実行委員会

委員長：大稔哲也

事務局長：五十嵐大介

副事務局長：佐藤尚平

委員：小松香織、桜井啓子、土佐林慶太、杉本悠子、柳谷あゆみ、長谷部圭彦、高木小苗、永島育、沈雨香、Alex Mallett

Email: james2022waseda@list.waseda.jp

（第 38 回年次大会実行委員長　大稔哲也）

『日本中東学会（AJAMES）』編集委員会報告

1.　38-1 号　現在編集中

・ただいま、38-1 号の刊行を目指して編集作業を鋭意進めております。論文 5 本、英

文博士論文要旨 3 本を掲載できる見込みです。（前号のニューズレターにて記載に間違いがございました。訂正してお詫び申し上げます。）

2.　38-2 号　投稿締切

・38-2 号の投稿締め切りは 6 月 1 日です。論文、研究ノート、書評等さまざまなジャンルでの投稿をお待ちしております。特に欧文での投稿は歓迎いたしております。

・アドレス設定の関係か、編集長からのメールが届かない、もしくは編集長メールアドレス宛に送信したのに返信がない、等の通信トラブルが起きております。お手数ですが、ご連絡頂いた後に長期間、返信が届かない場合は、まず迷惑メールフォルダ等をご確認頂いた上で、編集長の大学メールアドレス（aikon0213@keio.jp）宛に再送頂ければさいわいです。

3.　博士論文要旨

・AJAMES では、会員による中東関連の博士論文要旨（英文）を掲載しています。特に締め切りを設けておりませんので、最近博士論文を提出された会員の方は、随時ご投稿ください。お近くに中東関連で博士論文を提出された方がおられれば、ぜひ投稿を呼びかけてください。

4.　欧文特集のお願い

・AJAMES では現在、欧文（英語・フランス語等、日本語以外での原稿）での特集の企画を募集しております。企画をお持ちの方は、直接ご投稿いただくか、編集長までご相談ください。どうぞよろしくお願い致します。

本誌に関するお問い合わせ先、原稿投稿先は以下のとおりです。

〒108-8345　東京都港区三田 2 丁目 15 番 45 号
慶應義塾大学　研究室棟 604B 錦田愛子研究室気付
『日本中東学会年報』編集委員会
E-mail: ajames-editor@james1985.org

（錦田愛子　AJAMES 編集委員長）

後藤明先生の思い出

医王秀行

3 月 3 日、後藤明先生が亡くなられました。享年 80 歳。私が先生の逝去を知ったのは 3 月の末日のことで、夜半に知人の先生のメールを読んだ時にはあまりのことに言葉を失ってしまいました。

後藤明先生は預言者ムハンマド研究の大家として大きな足跡を残され、そのユニークで独創的な学問業績は多岐にわたります。中東学会をはじめ日本の様々な学界や学術委員会などにおいて労苦を惜しまずに奮闘され、後進に大きな影響を与えています。

重責を担いながらも、周りへの気遣いを怠らず、世話好きで、何よりも温厚で飾らない人柄には皆が安心感を持ち、敬意を寄せたものでした。中東学会に長らく在籍していた会員の方ならば、それぞれに語り尽くせぬ思い出があるここと推察されます。私は先生とは「預言者ムハンマド伝」の翻訳作業で、12 年ほどの間、ほぼ毎週顔を合わせていました。先生が大学を退職される頃まで続いたこの翻訳会は、本当に楽しい日々で、貴重な時間を先生とともに過ごせたことは大きな財産となっています。ここでは個人的な思い出しか語ることが出来ませんが、ご容赦いただきたいと思います。

先生と知り合ったのは私がチュニジアで専門調査員になったばかりのときです。何人かの研究者と来訪され、寄宿先にも来てもらったことがありました。大使公邸の食事に呼ばれた際には、専門調査員は研究職なのだから、外務省の雑務ばかりおしつけてはダメです、みたいなことを大使に力説していただきました。おかげで私の居心地もすこぶるよくなりました。当時、中東各地の大使館で研究者の卵が専門調査員になりはじめていた時期でしたが、外務省の役所仕事ばかり押し付けられることも多く、そうした実態に先生は本気で憤慨していました。

帰国後は、私の指導教官であった嶋田襄平先生が亡くなったばかりのころで、後藤先生には申請書類の推薦状を書いてもらったり、もっぱら指導教官のごとく便宜をはかってもらいました。職がなかった私に大学の非常勤の話を真っ先に紹介してくれたのも先生でした。中大の大学院にも教えに来られていて、その縁で嶋田先生の遺稿集の編集を中大の東洋史学科の先生から依頼されることになりました。これは、実は大変骨の折れる仕事で、掲載雑誌が多岐にわたる論文の固有名詞や用語の表記を統一せねばならず、註の体裁も整え、当然索引も作るということで、今から考えると、忙しい後藤先生が直接関わる仕事でもなかったように思います。それでも、嶋田先生にはアラビア語の史料講読で学生時代に教えを受けたということで、数人の院生、OB らとともに黙々と作業をこなすことになりました。こうして嶋田先生の『初期イスラーム国家の研究』(中央大学出版会)は世に出ましたが、これは後藤先生の隠れた業績の一つです。

研究会等で何回かお会いするうちに、先生に『預言者ムハンマド伝』は翻訳されないのですかと聞いたことがありました。すると、50 ページほど翻訳してみたのだけれど、とにかくあれは詩がやたら多くて、その翻訳が難しいとのことでした。そこで、アラビア語史料購読の達人、高田康一氏を誘って 3 人で『預言者ムハンマド伝』を翻訳することになりました。東大東洋文化研究所の先生の研究室で毎週顔を合わせて翻訳作業をするうちに、ほどなく、高野太輔氏が加わり地道な翻訳会が何年も続きました。森山央朗、加藤瑞枝、松本隆志の各氏も加わって最後はこの 7 人で作業にあたりました。こうした共同作業が長年にわたって瓦解することなく存続できたのは、長老格の先生がいつも悠然と構えて場をなごませてくれていたからです。

東大の東洋文化研究所で翻訳作業をしていたときは 6 時くらいになると冷蔵庫からビールを持ってきて飲みながら作業を続けるのが恒例でした。東洋大学に移ってからは行きつけの居酒屋で生ビール 2 杯ほど飲んだあと、日本酒ぬる燗をひたすら飲む、そして締めの麺類や米は食べず、米は液体で取るんだ、というのが先生のスタイルで

した。イタリアンでは赤ワインのボトルを皆で何本か空けるのですが、料理は箸で食べるというのが基本でした。とにかく話題が豊富で、好きな巨人や相撲の話もよくしていました。また愛煙家で(好みの銘柄はピース)、当時は高田氏や加藤氏以外はみな煙草を吸っていたので、外から見るとかなり不健康な研究会だったと思います。先生は医者が嫌いで、医者の言うことは信用できんというのが口癖でした。健康診断も受けないという固い信念をお持ちで、我々も特に心配することもなかったのですが、翻訳会がほぼ終わり、東洋大学を退職するころには、病院で透析を受けることになっていました。

退職後は自由気ままに旅行する心つもりだったと思います。グラナダのバルとタパの話になったとき、アンダルシアにはぜひ行かねばと言っていました。ニュージーランドに家族で旅行された折には、ビジネスクラスはほんとに快適で、これからはビジネスクラスにかぎるとおっしゃっていたのが思い出されます。近江八幡に隠棲された後は、私も抜き刷を送ったり、年賀状を送ったりするだけになってしまいました。何かの折に近江八幡に伺おうかとは思いつつも、コロナ禍でそれもままならず、見舞いの手紙や電話をすることもなく、あんなにお世話になったのにと思うと、本当に悔やみきれません。

先生が退職する折に、研究室の蔵書は皆で好きに持って行ってくれというので、私は、何冊かの本とともに、翻訳会の底本となったイブン・イスハークのヴュステンフェルド版をいただきました。先生が長年使って背表紙が取れてしまったもので、結婚祝いでいただいたバカラのグラスとともに大事な思い出の品となりました。しかし、私にとって一番の財産は、やはり、長年、先生と一緒に訳した『預言者伝ムハンマド伝』です。この本をペラペラとめくっていると、今でも先生の息遣いが聞こえるような気がします。

後藤先生、長い間、本当にありがとうございました。

寄贈図書

【単行本】

大坪玲子・谷憲一（編）『嗜好品から見える社会』春風社、2022 年

鳥山純子（著）『「私らしさ」の民族誌：現代エジプトの女性、格差、欲望』春風社、2022 年

ガザーリー（著）・前野直樹（訳註・解説）『導きのはじめ』日本サウディアラビア協会、2021 年

平寛多朗（著）『エジプトの「国語教育」：アラブ人の歴史とアラビア語文学史』風響社、2021 年

Takami, Kaname, Kaoru Suemori, Tetsuo Nishio and Kenji Kuroda, eds. *Research Source Guide for Museums in the Middle East IV: Arab Countries*. Suita: Center for Modern Middle East Studies at the National Museum of Ethnology, 2022.

Kuroda, Kenji and Aslı Kemiksiz, eds. *Research Source Guide for Museums in the Middle East*

V: The Republic of Turkey. Suita: Center for Modern Middle East Studies at the National Museum of Ethnology, 2022.

Kuroda, Kenji and Kenichi Tani, eds. and trans. *Guide for Iranian Documentaries on アイン Āšūrā: The Event in the Frame by Ah.mad Ṭālebī-nežād*. Suita: Center for Modern Middle East Studies at the National Museum of Ethnology, 2022.

Sawaguchi, Yuki, Kensuke Yamamoto, Akiko Sugase and Kenji Kuroda, eds. *Research Source Guide for Museums in the Middle East VI: Israel-Palestine*. Suita: Center for Modern Middle East Studies at the National Museum of Ethnology, 2022.

Nishio, Tetsuo and Naoko Okamoto, eds. *Histoire arabe de Sindabad Le Marin par François Pétis La Croix: Édition critique des manuscrits conservés à la Bibliothèque d'État de Bavière de Munich et à la Bibliothèque publique de Cleveland*. Suita: Center for Modern Middle East Studies at the National Museum of Ethnology, 2022.

【逐次刊行物・ジャーナル・その他】
『Danah』No.242、日本クウェイト協会、2021 年 2 月
『Danah』No.243、日本クウェイト協会、2022 年 2 月
『Sadaqah』No.242、日本サウディアラビア協会、2021 年 9 月
『上智アジア学』第 39 号、上智大学アジア文化研究所、2021 年 12 月
『季刊アラブ』No.177、日本アラブ協会、2021 年 10 月
『季刊アラブ』No.178、日本アラブ協会、2022 年 1 月

会員の異動

【新規会員】

中西　俊裕	帝京大学　経済学部国際経済学科
山本　久美子	東京外国語大学　アジア・アフリカ言語文化研究所

【所属先変更】

鈴木　恵美	中央大学　文学部東洋史学専攻
飯野　りさ	東京芸術大学　音楽学部
池田　昭光	明治学院大学　教養教育センター
河原　弥生	東京大学　附属図書館アジア研究図書館研究開発部門
米田　憲市	鹿児島大学司法政策教育研究センター
磯貝　真澄	千葉大学　大学院人文科学研究院
岡﨑　弘樹	亜細亜大学　国際関係学部

【2021 年度末をもって退会した会員】

井谷　鋼造	Omar Farouk	アレズ ファクレジャハニ　斎藤　正道
武田　祥英	SeanE. Foley	Al Manakhrah, AI Hassan Y.

Almaddah Amr Reda　　Elyas, Tariq F.　　二階堂　幸弘　　大石　悠二
森戸　幸次　　依田　純和　　佐藤　道雄　　平野　淳一
小野　安昭　　餅井　雅大　　GERLACH KAI-HENNIG
Abdelrahman Tareq Sadeq El-sharqavy　　夏目　美詠子　　濱田　忠嗣

連絡先をご存じないですか

下記の会員の方々は、連絡先が不明なため、学会からのお知らせなどをお届けすることができないでおります。連絡先をご存じの方は、学会事務局までご連絡いただけますよう、ご面倒でもご本人にお伝えいただければ幸いです。

苗村　卓哉　　モハメド オマル アブディン　　横田　吉昭
餅井　雅大　　西舘　康平　　後藤　信介　　リーム・アハマド
ファトヒー モハンマド　　林田　花枝
Abhu-Hajiar Iyas Salim　　Abuhajir Rehab A

事務局より

来る 5 月 14 日・15 日に日本中東学会の年次総会および大会が開催されます。年次総会は 5 月 14 日（土）13 時からオンラインで開催されます。学会ウェブサイトでは出欠確認および委任状フォームを公開しております。お早目のご登録をお願いします。なお、今大会会場での会費受付は予定しておりません。お手数ですが、お手元に届いている請求書をご確認頂き、振り込みをお願いします。

会員窓口業務を委託している国際文献社より、30 名を超える会員のメールエラー（受信拒否やユーザー不明など）などが発生していると報告を受けています。会員の皆さまにおかれましては、学会および学会窓口のドメインである@james1985.org」「@bunken.co.jp」が受信できるようにメールの受信設定をお願いします。

また＜会員情報マイページ＞にてご自身で情報の変更が可能ですので、所属先・連絡先（住所・メールアドレス）の更新をお願いします。詳しくは請求書をご覧ください。

（堀拔功二　事務局長）

編集後記

任期 1 年目を無事（ではないですが…）終えました。任期 2 年目も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

（青山弘之　ニューズレター・書記担当理事）

日本中東学会ニューズレター　第 166 号
発行日　2022 年 5 月 2 日
発行所　日本中東学会事務局

日本中東学会事務局
〒104-0054
東京都中央区勝どき 1-13-1　イヌイビル・カチドキ 10 階
（一財）日本エネルギー経済研究所　中東研究センター内
E-mail: james@james1985.org
http://www.james1985.org/
郵便振替口座：00140-0-161096（日本中東学会）
ゆうちょ銀行口座：〇一九店（当）0161096
（ニホンチュウトウガクカイ）